

『市民と語る会』

あなたの町内へ伺います

今年の「市民と語る会」は、九月からスタート。開催希望のあった町内へ市長自ら伺い、皆さんと膝を交えて身近な問題から大館の将来についてのことで広く話し合っています。ぜひお申し込みください。

随時開催

これまで3町内

今年は、これまでのように事前に各地区での開催日程を決めず、町内からの開催申し込みにより、町内と市が開催日時と場



市長と膝を交えてお話しください

所を調整して随時開催しています。これまでに「市民と語る会」を開催した町内は、神山、二井田・小坪川原、松峰の三町内で、延べ出席者は百五十六人。一会場平均は五十二人と、昨年の三十九人を大きく上回り、女性の出席者は既に昨年の延べ数と同じ七十八人に達しています。

また、現在までに開催が決定している町内は、十二所・上新町(十月二十日)、姥沢(十月二十八日)、花岡団地(十一月一日)、長面袋(十一月二日)の四つです。

申し込みから町内へ伺うまで

①「市民と語る会」申込書(各町内会長あてで送付してあります)を開催希望日の15日前までにご提出ください。調整のうえ開催日時と場所を決定します。
※土・日、休日は開催しませんのでご了承ください

②開催を町内へ通知します。

③町内の要望、提言(おおもね10件程度)を開催日の10日前までにご提出ください。あらかじめ市が調査・検討します。

④開催日に市長がお伺いします。

⑤当日即答できなかつたことについて町内へ回答します。

申・問 総務課広報聴係(内線258)

OHPも利用

地理を確実に把握

合同でも構いませんのでどしどしお申し込みください。

今年、事前に提出していた町内からの要望や、会場で出されるご質問の確に回答するため、町内の地図を大写真にできるOHP機材を利用し、土木関連などで質問があった際もすぐに場所を確認できるようにしています。

は、観光と集客、高齢化と福祉、大型プロジェクトの推進など、市の将来についてのご提言も数多く出され、それぞれ熱心に話し合われています。

あなたの町内にも伺いたいと思いますので、ぜひお申し込みください。『二十一世紀をみつめて』あなたの夢でおおだてが飛び立ちます



皮切りとなった神山町内

市長リポート



No. 54

『冷害の年だからこそ』

今年の稲作は、日照不足と長雨の影響などで惨憺たるものでした。五月末には降ヒョウ被害もあり、今年は農業にとって大変な年で農家の皆さんも本当に心を痛めておられると思います。とにかくいろいろありますけれども、どうかひとつ「もう馬鹿くさい、やめちまおう」などと思わないでください。こういった冷害の年であるからこそ、むしろこれを機に、天候に左右されない農業づくりにみんなを取り組んでいきたいと思っています。そのために今年から大型施設園芸産地育成事業をスタートさせましたし、基盤整備事業も各地域で始まってきています。

今年は辛い苦しい経験をしたわけですが、単にそれで終わらせないで、来年以降のためにも、足腰の強い農業を確立するんだということががんばっていきましよう。市としても農家の皆さんのために全力を尽くしていきたいと思っています。

小畑 元